

施策番号	2604		
施策名	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実		
概要	地震や水災害等の被害を最小限に抑えるために、消防団、自主防災組織等の災害対応力を向上させるとともに、防災危機管理体制の充実を図る。		
担当局・部室	消防局・安全救急部	共管局・部室	行財政局・防災危機管理室
上位政策	26 消防・防災		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市地域防災計画、京都市国民保護計画		

施策の評価

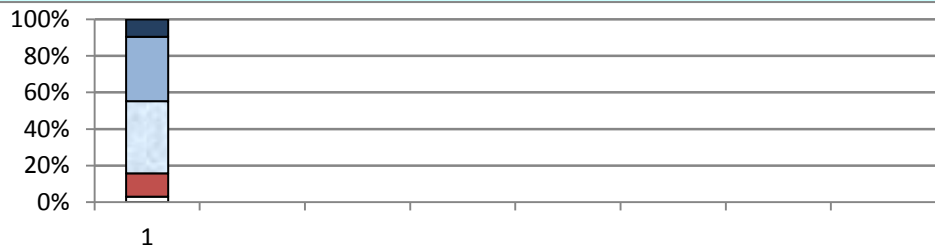
1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	防火防災教育訓練への参加者数(延べ人数)(人)	c	b	380,544	372,918	421,792	88.4%	c	1.00
2	避難所運営マニュアル作成済み避難所数(箇所)	-	-	-	63	70	90.0%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		c	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。	49	182	204	66	15	516	b
		9. 5%	35. 3%	39. 5%	12. 8%	2. 9%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					24 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 消防・防災施策については、市民にとって平常時には実感を得にくいものであることから、客観指標を重視する。						24 年度	B
(原因分析) ・客観指標評価については、防火防災教育訓練への参加者数が近年で最も多かった前年度と比較して若干減少したため、b評価(前回)からc評価に下がった。 ・市民生活実感評価については、東日本大震災の教訓を踏まえ、防災に関する取組の見直しや充実が図られており、それらを通じて市民の防災意識に変化が表れ、c評価(前回)からb評価に上がったものと考える。						23 年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	京都市災害廃棄物処理計画等の改訂	10,296	—	—	環境政策局
2	防災危機管理対策	405,214	444,220	かなり良い	行財政局
3	福祉避難所運営支援事業	8,375	5,603	かなり良い	保健福祉局
4	地域における見守り活動促進事業	15,017	20,293	かなり良い	保健福祉局
5	消防団管理	843,749	696,372	普通	消防局
6	消防団活動	256,138	277,174	良い	消防局
7	消防団運営	93,174	92,775	普通	消防局
8	自主防災組織の災害対応力の充実	1,448,446	1,436,401	良い	消防局
9	京都市市民防災センター	150,069	151,208	—	消防局
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・市民防災センターの利用促進をはじめ、あらゆる機会を用いて市民の防災意識の更なる高揚を図るとともに、地域の集合同所を活用した訓練の実施など地域の実情に応じた防火防災教育訓練を実施し、地域の災害対応力の向上に努める。
- ・現在の備蓄計画を見直し、避難所用や新たに帰宅困難者用の災害用備蓄物資について充実を図るとともに、全避難所での「避難所運営マニュアル」の作成や、民間企業等と連携しながら観光客等の帰宅困難者対策を推進するなど、公助、共助の取組を進め、防災・減災対策の強化を図る。

施策名	2604	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実					
指標名	防火防災教育訓練への参加者数（延べ人数）（人）						
担当課	安全救急部市民安全課		連絡先	2 1 2－6 6 9 2			
1 指標の説明							
消防局が実施する防火・防災教育訓練（防火管理・防災管理講習，普通救命・上級救命講習，広報を除く）への参加者数（京都市市民防災センター利用者数を含む。）							
2 指標の意味							
市民の防災意識の高さを示す指標							
3 算出方法・出典等							
算出方法：防火・防災教育訓練への参加者数（京都市市民防災センター利用者数を含む。） 出典：事業担当課調べ							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度	
数値	380,544	372,918	7,626人減	421,792	該当年度当初の人口（5歳以下及び防火安全指導対象者を除く。）の1/3の数	88.4%	
	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値							
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満							
6 基準説明							
・目標値を達成すればa評価 ・以下10%刻みでb～e評価							
7 評価結果							
232425							
c b c							

指標名	避難所運営マニュアル作成済み避難所数(箇所)					
担当課	防災危機管理室		連絡先	2 1 2－6 7 9 2		
1 指標の説明						
災害時，避難所を迅速かつ円滑に開設・運営するために必要な避難所運営マニュアルを作成済みである避難所数。						
2 指標の意味						
市民の災害対応力の高さを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：各区役所・支所調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	-	63	-	70	平成32年度の目標値（431箇所）を達成するために，当該年度達成すべき数値	90.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満						
6 基準説明						
・目標値を達成すればa評価 ・以下20%刻みでb～e評価						
7 評価結果						
232425						
- - b						